統合開発環境をインストールする

JDK（Java Development Kit）を自分のパソコンにインストールすれば、テキストエディタなどを使って、自分で作成したJavaプログラムをコンパイルし実行することができます。

ただ、実際の開発作業では、統合開発環境（IDE）と呼ばれるソフトウェア（ツール） を利用します。

プログラム開発のための強力なサポートを受けられるからです。

IDEには、Eclipse、STS、IntelliJ、VS Codeなどがありますが、

ここでは最も簡単に利用築できる Pleiades All-in-oneを紹介します。

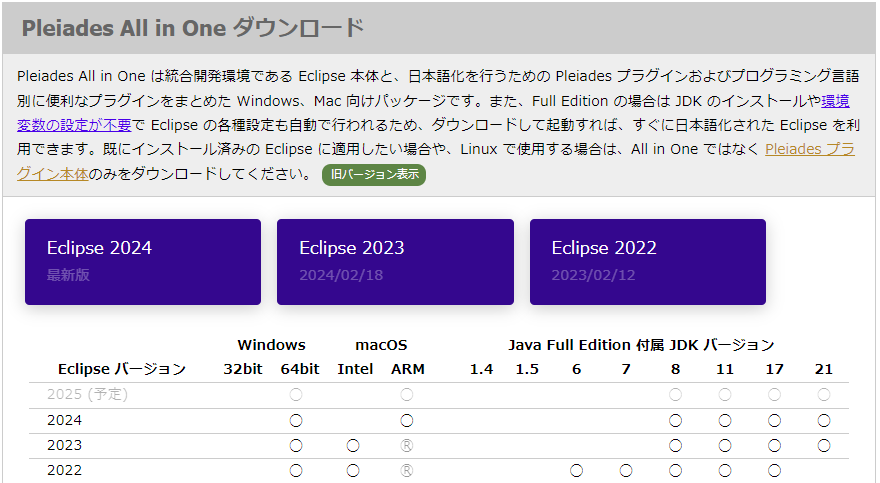
# Pleiades All-in-oneをインストールする

Pleaidesプロジェクトが提供しています。プレーンなEclipseを日本語化したものに、よく使われるプラグインをあらかじめ追加したものです。

■次のサイトからall-in-oneをダウンロードします

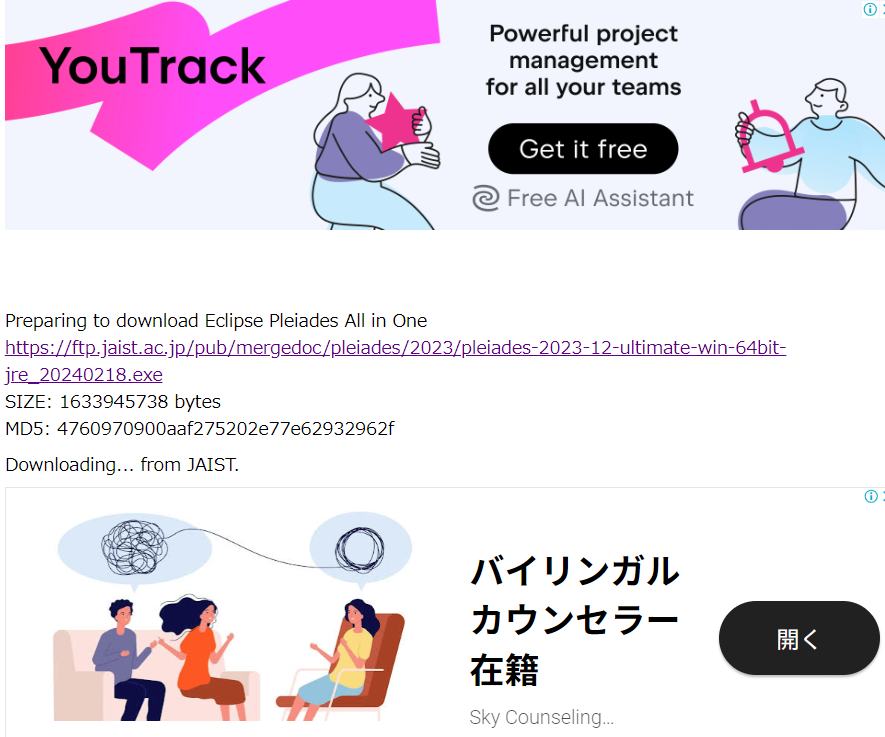
「Pleiades: 統合開発環境 Eclipse 日本語化プロジェクト

<https://willbrains.jp/>



※2024年6月現在、Eclipse2024バージョンはNotFoundになるようです。





ここは広告

ここは広告

ダウンロードが始まらないときは

ココをクリックします

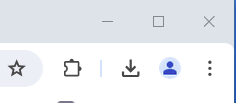
ダウンロードが始まらない場合は、上の赤枠内のリンクをクリックします。

Windows10 Chrome の場合、ダウンロードの状況は、右上のマークで確認出来るようです。

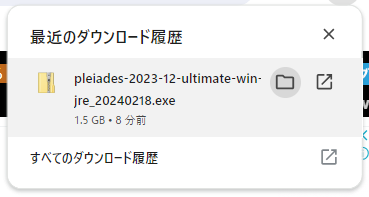
■ダウンロードが進行中



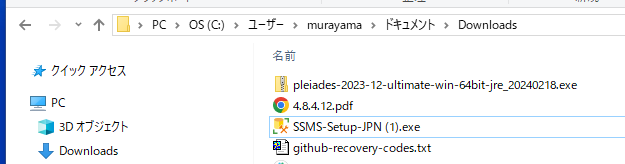
■ダウンロードが完了



上のマークをクリックするとダウンロードされたファイルの場所が開きます。

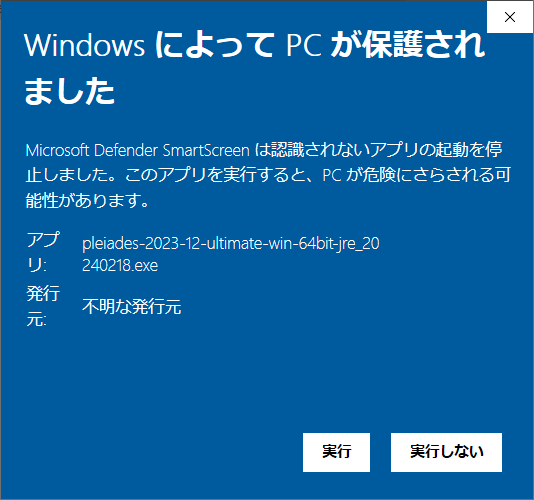


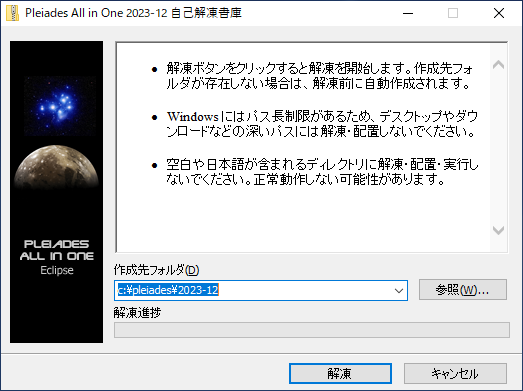
■エクスプローラ



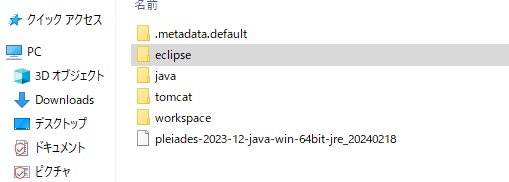
■ダブルクリックでインストールを開始します

※環境によっては次のダイアログが表示されます。表示されたら、「実行」を押します。





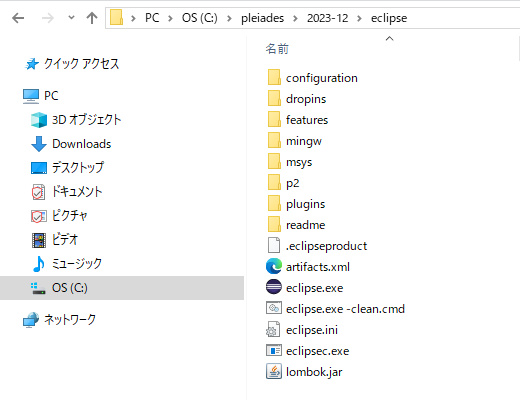
■解凍先のフォルダの内容

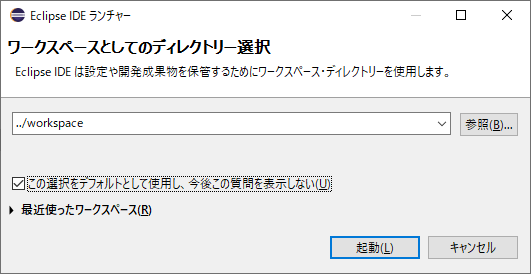


■Eclipseを起動します

次図のeclipse.exeをダブルクリックします。

eclipse.exeのショートカットをデスクトップ等に置いておくと便利でしょう。

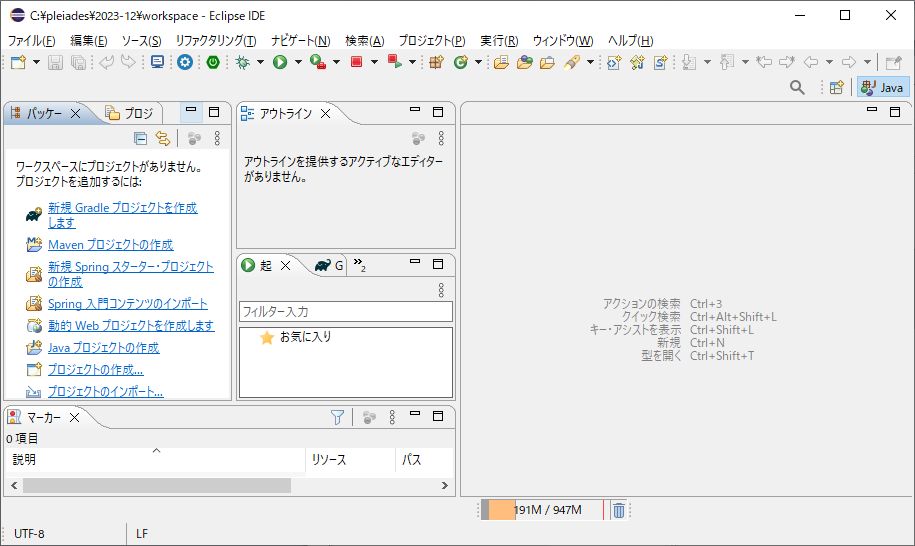




■起動後の画面の状態



■Eclipse画面



※上図は筆者の好みで、画面の色などを変更しています。変更前はダーク表示（黒ベースの配色）です

ウィンドウ → 設定 → 一般 → 外観 → ルック＆フィールをクラシック

ウィンドウ → 設定 → 一般 → 外観 → 色とフォントをメイリオ

■その他の設定

ウィンドウ → 設定 → Java → インストール済み\_JRE : Java8

ウィンドウ → 設定 → Java → コンパイラの準拠レベル： 1.8

（プロジェクト作成後）

プロジェクト → 右クリック → プロパティ → リソース → エンコード： UTF-8